



News Letter No.7

2022/10/7

目次

1. 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定	1
2. プレスリリース:「AI・データサイエンス全学プログラム」を附属高校生徒が先行履修～数理・データサイエンス・AIの学びをリードする学生を育成～	1
3. プレスリリース:実データを用いたデータサイエンス教育と大学スポーツ振興	2
4. 大学時報 No.404(2022年5月)に所長 樋口知之が寄稿	2
5. 科目「AI・データサイエンス総合」にて、株式会社 ARISE analytics 佐々木亮様が講義	3
6. 盛会のうちに終了「若手データサイエンティストが語るリアルなお仕事 ～あなたの3年後の新たな飛躍へ～」	3
7. 科目「AI・データサイエンス総合」にて、株式会社 ALBERT(アルベルト)井田佳祐様、巢山剛様、マイナビ編集長 高橋誠人様からの講義実施	4
8. 国際経営学部「データサイエンス」にて、OKI 竹内晃一様、伊加田恵志様がAI・データサイエンスの社会実装について講義	4
9. 社会調査とデータサイエンス:株式会社ビデオリサーチ 森本栄一講師によるハイフレックス講義(AI・データサイエンス総合)	5
10. AI・データサイエンスセンター事務室移転について	5
11. 所長 樋口知之のインタビュー掲載(雑誌「New テクノマート創」Vol.38)	6
12. 所員	6

1. 文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定

中央大学「[AI・データサイエンス全学プログラム](#)」のうち、大学生としての基礎力を養う科目「AI・データサイエンスと現代社会」は、令和4年度 文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定されました。



認定のロゴマーク
(認定の有効期限:令和9年3月31日まで)

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、それを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成するため、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行う大学等の正規の課程(教育プログラム)を文部科学大臣が認定及び選定するものです。

「AI・データサイエンスと現代社会」は導入科目として位置づけられ、「AI やデータサイエンスがもたらす価値」「デジタル技術が行き渡った社会における課題」を大きなテーマとして、基礎的な統計概念、データに基づく思考やデータ利用の倫理など、データサイエンスの適用方法や有効性、現代的な課題を学ぶことができます。

2023 年度には、iDS プログラムでの応用基礎レベルの認定も計画しています。

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク:文部科学省令和4年度「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム\(リテラシーレベル\)」の認定・選定結果について](#)

2. プレスリリース:「AI・データサイエンス全学プログラム」を附属高校生徒が先行履修～数理・データサイエンス・AI の学びをリードする学生を育成～

2022 年 9 月より、4つの附属高校に在学する生徒を対象に、数理・データサイエンス・AIに関する授業科目「AI・データサイエンスと現代社会」を先行的に履修する「高大接続先行履修制度」(特別科目等履修生)を開始します。

制度の概要

名称:高大接続先行履修制度

開始時期:2022 年 9 月(授業開始日は 9 月 21 日(水))

学校法人中央大学が設置する附属4高校の2・3年次に在籍する希望者(2022 年度:21 名)を対象として、全学共通科目「AI・データサイエンスと現代社会」を特別科目等履修生として受講する制度です。本制度により単位を取得し、本学に進学した場合、全ての学部において「卒業に必要な単位」として認定します。

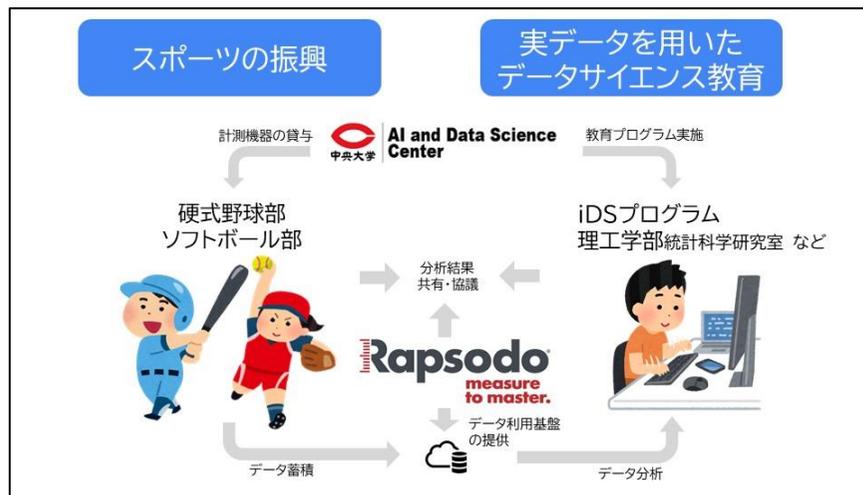
特色・特徴

- * 文系・理系を問わず“数理・データサイエンス・AI 分野に強い基幹学生”を育成
- * 強いインセンティブを講じることで附属校生徒の学習意欲を促進
- * 附属高校における「探究学習」の充実・高度化に寄与

[リンク:プレスリリース](#)

3. プレスリリース:実データを用いたデータサイエンス教育と大学スポーツ振興

中央大学 AI・データサイエンスセンター(所在地:本学後楽園キャンパス、所長:中央大学理工学部・教授 樋口 知之)と株式会社 [Rapsodo Japan](#)(所在地:神奈川県横浜市、取締役・日本支社長 山同 建)は、スポーツ実データを活用したデータサイエンス教育とスポーツの振興及びスポーツデータアナリスト育成の支援を目的に「産学連携協力に関する覚書」を5月16日に締結しました。



中央大学 AI・データサイエンスセンターは、硬式野球部、ソフトボール部の協力を得て、計測データをスポーツ統計学分野の教育研究に利用します。また、その分析結果を両部や Rapsodo Japan と共有することで、実データを用いたデータサイエンス教育と大学スポーツの振興を推進するものです。

[リンク:プレスリリース](#)

4. 大学時報 No.404(2022年5月)に所長 樋口知之が寄稿

[一般社団法人日本私立大学連盟](#)から発行されている大学時報の No.404(2022年5月)特集「大学等における『STEAM教育』の取り組み」に、本センター所長 樋口知之(理工学部・教授)が「AI・データサイエンス全学プログラム」と題して寄稿しました。

中央大学において2021年度より実施しているAI・データサイエンス全学プログラムの現状や設立までの背景、目的、経緯等についてまとめられています。



理工学部・教授 樋口知之

[リンク:公式WEB 新着ニュース](#)

[リンク:大学時報 No.404 2022年5月発行](#)

[リンク:特集 大学等における「STEAM教育」の取り組み\(PDF\)](#)

5. 科目「AI・データサイエンス総合」にて、株式会社 ARISE analytics 佐々木 亮様が講義

2022年5月28日(土)学部間共通科目「AI・データサイエンス総合」において、[株式会社 ARISE analytics](#) 佐々木 亮様を講師としてお招きし、ハイフレックス講義を実施しました。

講義は生活に身近なコンビニエンスストアを題材として、データやAIを活用して課題を解決するための分析アプローチを説明いただき、仮説立案、分析設計、施策立案について、個人での検討、グループでの意見交換から発表までを行いました。

また、同日の講義に至るまで2回の講義(オンデマンド型)では、世界最先端のアナリティクスカンパニーを目標として掲げる株式会社 ARISE analytics のデータ分析、AI 導入支援、アナリティクスサービスなど、データサイエンスをビジネスに展開する活動について、同社代表取締役 家中 仁様より御経験や実績を踏まえた講義をいただきました。



佐々木 亮 講師

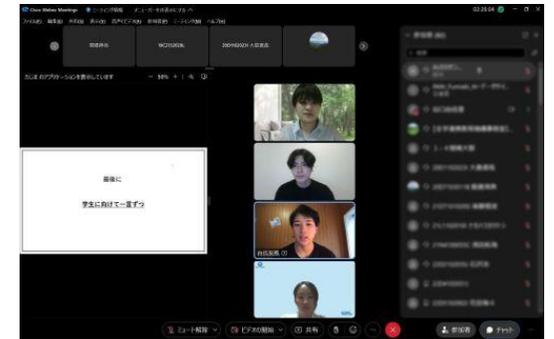
今回の講師 佐々木 亮様は、2021年3月に本学大学院理工学研究科博士課程を修了され、博士(理学)を取得された本学卒業生です。現在は同社でデータサイエンティストとして活躍されています。

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク:HAKUMON Chuo 【OB 探訪】ポッドキャストで「宇宙ばなし」配信科学系ランキング日本1位で注目データサイエンティストの佐々木亮さん](#)

6. 盛会のうちに終了「若手データサイエンティストが語るリアルなお仕事 ～あなたの3年後の新たな飛躍へ～」

[一般社団法人データサイエンティスト協会](#)、中央大学 AI・データサイエンスセンター、中央大学理工キャリア支援課の共催によるイベント『若手データサイエンティストが語るリアルなお仕事 ～あなたの3年後の新たな飛躍へ～』が2022年6月13日にオンラインで行われました。



パネルディスカッションの様様

前半は、モデレーターとパネリストがそれぞれの所属企業をデータサイエンス領域の具体的な事例を含めて紹介されました。後半のパネルディスカッションでは、モデレーターとパネリストの同世代、データサイエンティスト同士ながらの熱のこもった議論が行われ、聴講者からの質問にはここだけの話を交えながら、真摯に答えてくれました。

<モデレーター>

田嶋 優樹 様([株式会社電通](#) データマーケティングセンター シニアプランナー)

<パネリスト>

谷口 由佳里 様([株式会社分析屋](#) データアナリスト)

宇佐見 麻友子 様([ユニカミノルタ株式会社](#) データサイエンティスト)

白鳥 友風 様([日産自動車株式会社](#) カスタマーパフォーマンス&車両性能技術開発本部 データサイエンスグループ)

<総司会>

宮竹 祐生さん ([中央大学アナウンス研究会](#)所属 文学部人文社会学科東洋史学専攻3年)

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

7. 科目「AI・データサイエンス総合」にて、株式会社 ALBERT(アルベルト)井田 佳祐 様、巢山 剛 様、マイナビ編集長 高橋 誠人 様からの講義実施

2022年6月18日(土)、学部間共通科目「AI・データサイエンス総合」において、株式会社 ALBERT(アルベルト)井田 佳祐 様、巢山 剛 様、マイナビ編集長 高橋 誠人 様を講師としてお招きし、ハイフレックス講義を実施しました。



株式会社 ALBERT(アルベルト)井田 佳祐様



株式会社 ALBERT(アルベルト)巢山 剛様

同日の講義は「データ活用による課題解決に関する議論」と題して、仮説思考について学んだ後、令和時代における魅力ある大学を題材にしたワークショップを実施しました。個人ワークからグループワークを2回繰り返し、仮説立案から、仮説検証に必要なデータについて考え、議論し、発表まで行いました。



マイナビ編集長 高橋 誠人様

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

8. 国際経営学部「データサイエンス」にて、OKI 竹内 晃一様、伊加田 恵志様が AI・データサイエンスの社会実装について講義

2022年6月30日(木)多摩キャンパス FOREST GATEWAY CHUO で行われた国際経営学部の科目「データサイエンス」(担当教員:中野 純司)にて、[沖電気工業株式会社](#)イノベーション推進センター 竹内 晃一様、伊加田 恵志様らをゲストスピーカーとして招聘し、同社がすすめる AI・データサイエンスの社会実装について講義をいただきました。



講義の風景

講義の前半では、OKI がビジネスで活用する AI・データサイエンスの取り組みを御紹介いただき、これまで科目の講義で学修した統計的手法は、どのように実用されるのかを実際の事例の中から説明いただきました。後半では、イノベーション推進センターで活躍する若手の実務家4名(岡野様 川瀬様 近藤様 中村様)にオンラインで参加いただき、担当している業務や、データサイエンスを業務で活用する中で成功失敗談など、学生に年齢に近い立場からお話を頂戴しました。最後に、竹内様よりデータサイエンスのスキルはこれから必ず必要になるものであり、この科目で学んだことは必ず活けるとアドバイスを頂戴し終了しました。

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

9. 社会調査とデータサイエンス:株式会社ビデオリサーチ 森本栄一講師によるハイフレックス講義(AI・データサイエンス総合)

2022年7月9日(土)「AI・データサイエンス総合」において、[株式会社ビデオリサーチ](#)の森本栄一様を講師としてお招きし、ハイフレックス講義を実施しました。

同日の講義では、まず最初にコーディネータの文学部・教授 安野智子から「社会調査とデータサイエンス」と題して、計量的社会調査や社会調査の解説があり、社会調査の設計やデータ分析には、データサイエンスや統計学が不可欠であると説明がありました。

次に、森本様も参加し、前2回のオンデマンド講義の内容の振り返りや質問への回答を行い、講師担当回の講義内容の理解を深めていただきました。

最後に、テレビの役割についてのグループディスカッション(オンライン参加者はブレイクアウトルームを利用して実施)を行い、講義は終了しました。



森本様と安野教授の講義の様子



グループディスカッションの様子

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

10. AI・データサイエンスセンター事務室移転について



新事務室から望む改修工事の様子

後楽園キャンパス施設整備に伴い、AI・データサイエンスセンター事務室は仮移転しました。

2023年4月には(3号館)14階に再移転予定です。

移転作業期間:2022年8月29日(月)から9月2日(金)

移転後の場所:中央大学後楽園キャンパス3号館 11階 31127号室

AI・データサイエンスセンター事務室

〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27

TEL03-3817-7463

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

11. 所長 樋口知之のインタビュー掲載（雑誌「New テクノ マート創」 Vol.38）

2022年8月8日発行された雑誌「New テクノマート創」(Vol.38)の特集「現代の名工編」に、「ビッグデータ時代を切り拓いたデータサイエンティストのフロントランナー」と題して、本センター所長 樋口知之のインタビュー記事が掲載されました。

記事の中では、研究者となるまでの歩みや統計数理研究所での活躍、現在所属している中央大学での活動等について紹介されています。

[リンク:公式 WEB 新着ニュース](#)

[リンク:New テクノマート創](#)

12. 所員

AI・データサイエンスセンター 所員

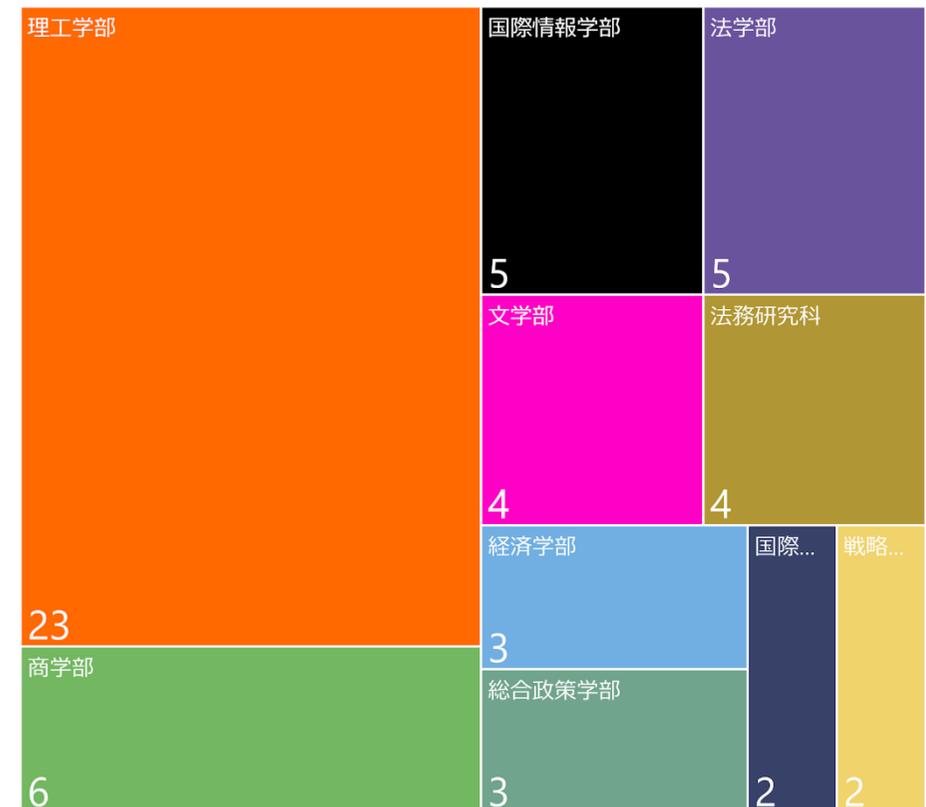
57

専任所員数

3

客員嘱託所員数

所属別 専任所員内訳



所員一覧は、[こちらのリンク\(オリジナルサイト「所員紹介」\)](#)をご覧ください

中央大学 AI・データサイエンスセンター
ニュースレター No.7

発行日:2022年10月7日 発行

発行所:中央大学 AI・データサイエンスセンター事務室

〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27

ai-and-ds-grp@g.chuo-u.ac.jp

https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/ai_and_ds/

表紙:中央大学理工学部写真会

<https://chuophotoclubkorak.wixsite.com/my-site>

Chuophotoclub【7月展「涼」】より

題名: 夕暮れ

撮影者: 植村洸陽(精密機械工学科1年)